

B分科会 管理職のための財務の見方

講 師 : 菊池 裕明 氏 / 針沢 一秀 氏
(日本私立学校振興・共済事業団)

運営委員 : 土門 久美子 / 真板 陽介 / 福田 貴夫

この分科会には、理事、法人事務局長及び経理部門の管理職の方々を中心に37名の申し込みがあり、学校会計に関する知識が豊富な方から、初めて学校会計に携わる方まで幅広い層の方々にお集まりいただきました。講師には、日本私立学校振興・共済事業団から、経営支援室長 菊池裕明氏及び経営支援室主幹 針沢一秀氏をお招きし、初日と2日目の両日にわたり、学校会計の基礎から、自法人の財務分析、経営判断指標等に至るまでの内容を、演習を織り交ぜながらわかりやすく解説していただきました。

初日は、学校法人会計の歴史や目的等についての説明から始まり、その後、各計算書類の役割や構造についての解説をいただきました。また、学校法人会計基準の改正についても補足説明を頂き、全体会での講演内容をより深く理解することができました。

2日目は、自法人の決算書を用いて、財務分析の実践を行いました。自法人の財務分析結果を全国の大学法人等のデータと比較した相対評価に基づいて、財務分析レーダーチャートを作成したことにより、各法人の強みと弱みを客観的に把握することができました。また、キャッシュフロー計算書の作成方法について学び、実際に自法人の資金収支計算書からCF計算書を作成する演習も行いました。これに併せて、経営判断指標や損益分岐点分析についても演習を交えながら学びました。特に、日本私立学校振興・共済事業団からご提供いただきました、参加法人ごとの「経営判断指標判定表」や、参加者が私学情報提供システムからダウンロードした「活性化分析資料」を使って、具体的な説明を頂いたことにより、財務データを用いた経営改善計画について理解を深めることができました。

最終日は、運営委員による架空の法人（東西学園）の決算書を用いた財務分析の解説を行いました。東西学園の財務分析結果と自法人の財務分析結果を重ね合わせることで、財務分析の意義や活用法について理解することができたと思われま。

この3日間の分科会によって、参加した管理職の方々に、決算書から各学校の現状を読み取り、今後の課題の発見や、経営上の目標等を定める力つけていただくことができたと思います。次年度以降の分科会運営の課題としましては、参加者との意見交換やディスカッションの機会を設けることを検討していきたいと考えます。

日本私立学校振興・共済事業団の方々にはわかりやすい資料等をご準備いただいたことに加え、丁寧なご指導をいただきましたことに心より御礼申し上げます。